

2012 年度「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」助成公募 決定のお知らせ

一般社団法人アクト・ビヨンド・トラストが公募した「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」助成について、計 7 件の企画が決定しました。選考委員についても併せてご紹介いたします。

2012 年度「ネオニコチノイド系農薬に関する企画」 助成公募選考委員（あいうえお順）

- 岸田ほたる（A SEED JAPAN 事務局長）
- 後藤和明（らでいっしゅぼーや農産部長、Radix の会常務理事）
- 田中 優（未来バンク理事長）
- マエキタミヤコ（サステナ代表）
- 宮田秀明（摂南大学学長付客員教授／環境科学、食品衛生学、公衆衛生学）
- 森 摂（オルタナ編集長）
- 安田節子（食政策センター ビジョン 21 主宰人）
- 山田敏郎（金沢大学教授／化学工学、自然システム学、蜂群崩壊症候群研究）
- 古瀬繁範（地球と未来の環境基金理事長）
- 星川 淳（アクト・ビヨンド・トラスト理事長）

「ネオニコチノイド農薬空中散布におけるヒトの健康被害に関する調査」

竹ノ内敏一

助成金額：1,500,000 円 【調査・研究／広報・社会訴求部門】

長野県坂城町では松枯れ対策としてネオニコチノイド系農薬の空中散布が 2012 年 6 月 18 日に行なわれることが確定した。そのため、申請者らは、農薬散布時に地域住民の健康調査（アンケート）と尿の分析（ネオニコチノイド系農薬の定量）を行なうことを決定した。得られるデータを基に、健康被害の有無を科学的・医学的に考察・解析する。さらに、同時に他の研究機関によって実施される大気中のネオニコチノイド系濃度測定結果も参考にし、得られた知見を総合的にまとめ、報告書を作成する。報告書は公開し、坂城町、長野県、国に示し、散布是非の判断材料として提出する。

「ネオニコフリー・生きもの認証システムの推進」

ネオニコネット（申請代表者：藤原誠太）

助成金額：900,000 円 【市場“緑化”部門】

生態系を守るために、ネオニコチノイド系殺虫剤などの農薬を使わない農業により作られた農産物に、ミツバチ・トンボなどのマークをつけて消費者が選択しやすくする「ネオニコフリー・生きもの認証システム基礎基準」を昨年策定したことから、今年度は、パイロットプロジェクトを立ち上げ、必要書類作成、認定に関わる公開確認会、資格認定委員会の開催等を行う。併せて、生きもの認証の広報活動としてシンポジウムも開催する。

「ネオニコネット広報活動」

ネオニコネット（申請代表者：藤原誠太）

助成金額：910,000 円 【広報・社会訴求部門】

ネオニコチノイド系農薬の科学的情報を普及する（国内外の情報のアップ）。当ネットワーク並びに他団体等の企画の広報。当該農薬を使用しない農法の普及。これらの情報の発信をするため、HPの更なる充実、メンテナンスを行う。また、環境問題のイベントへの参加及び、ニコチンビーの上映会を開催する。

<p>「政策提言活動」</p> <p>ネオニコネット(申請代表者:藤原誠太)</p> <p>助成金額:1,000,000円【政策提言部門】</p> <p>①ネオニコチノイド系農薬について先進的な取組みを行うEUにおける規制や対策の最新情報を提供するための国際会議を開催する。</p> <p>②長野県内の住民・団体と協力しながら、県内の自治体に対し、農薬の空中散布の中止を働きかける活動を行う。</p> <p>③国に対し、農薬の空中散布を規制することを求める政策提言の作成及びその実現のための活動を行う。</p>
<p>「ネオニコチノイド系殺虫剤による水田生態系への影響評価」</p> <p>(社)佐渡生きもの語り研究所(申請代表者:大石麻美)</p> <p>助成金額:1,492,000円【調査・研究／広報・社会訴求部門】</p> <p>トキの野生復帰に向けた自然再生が進む佐渡島において、水田生態系におけるネオニコチノイド系殺虫剤の残留・蓄積状況を、高感度・高性能の液体クロマトグラフ-タンデム型質量分析計(LC/MS/MS)を用いて定量評価するとともに、本剤の使用水田における生物量および種多様性を未使用水田と比較することで、水田食物網の構造に与える本剤の影響を実証する。また、その結果を公開シンポジウムにより公表することで、本剤の環境リスクを市民と共有し、脱ネオニコチノイド社会の道筋を描くことを目指す。</p>
<p>「ネオニコチノイドは蜜蜂だけの問題じゃない」</p> <p>NPO 法人みれっと(申請代表者:久間佳代子)</p> <p>助成金額:1,000,000円【広報・社会訴求部門】</p> <p>ミツバチに異変が出ていることは知られてきたものの、人に影響はないと思っている人がほとんどである。子どもたちとネオニコチノイド農薬との関係について人々に知ってもらい、身の回りから曝露の危険を減らすように、都市に住む消費者向けの学習会やセミナーを実施して、社会的認知を高める。</p>
<p>「ミツバチの側からみた蜂群大量死の実態をひろめるプロジェクト」</p> <p>後藤純子</p> <p>助成金額:80,000円【広報・社会訴求部門】</p> <p>①ミツバチの立場に立って巣箱の中からみた大量死についての話を、大人でも子供でも読みやすいように書きました。楽しいミツバチ講座のおみやげに、復習用にお持ち帰りいただいています。もっとたくさんの人に読んでいただきたいと思っています。</p> <p>②だれでも楽しめるようなミツバチのミュージカルがあるといいな、その原作になるように、事実に忠実に可塑性がある素材として書きました。また、日本語であれば限りがあるけれど、英語でしたら、読んでいただける範囲が広がるでしょう。</p> <p>③遅効性農薬のダメージを素材に、お話の続きを書きます。</p>

* 申請書受付順。

* 企画の概略は申請書記載の内容を掲載しました。